



ペーパーメディアでの紹介記事

和襖用金物のカタログ発刊<ナガノ>普及・中級品合わせて 556 点収録

襖用引手など襖金物の大手メーカー(株)ナガノ(社長長野良雄氏、大阪市東成区大今里西 1-25-4 TEL06-6972-3824)は、このほど和襖用カタログ「BIDOOR BEST SELECTION・和襖用製品シリーズ VOL. 1」を刊行し、配布を開始した。同社は今年 7 月、量産襖用カタログを発刊、今年 10 月現在で 8500 部を配布するなど好評を博しているが、今回のカタログはその和襖用の普及・中級版。

和襖版は、普及品から中級品までの使用頻度の高い製品を中心に掲載。襖引手から戸引手、開き用引手、下がり、取手、丁番、キャッチ、戸当たりから引手釘類、仏間製品、工具、その他関連製品まで、一般的に使われる資材はほぼ網羅している。総掲載件数は 556 アイテムにもものぼり、総写真点数(オールカラー)は 263 点が収録されており、まさに、和襖用資材のスタンダード・バイブル的な内容となっている。とくに、製品形状図面とサイズ(ミリ単位)を表示しているため、設計者から現場監督、資材購買担当者、インテリアコーディネーターの襖資材選びに便利よく構成されている。もちろん襖・表具店にとっても、使いやすいものとなっている。一例をあげると、「素材別」「シリーズ別」のページ構成となっているので探しやすい。そして収録商品はすべて普及品～中級品で手ごろな価格帯のものばかりなので安心して利用ができる。また、和襖版は、ちょっと変わった金物がほしい場合でも比較的安価にオリジナル金物が製作可能なセミオーダーサービスについての解説もあり、他社との差別化をはかるための戦略商品的なものも作れるようになっている。このセミオーダーとは「BIDOOR」(ビドール)標準製品の色・材質・サイズなどの一部が変更できるサービスだが、同社の永年にわたる製作経験と技術、多くの製品型などの組み合わせによって、完全オリジナル製品よりはかなり廉価に出来る。

同カタログの巻末には、襖金物によく使われる素材別の製品グレードと普及頻度を表した「素材別製品グレードと普及頻度」表が掲載されている。グレードは下級、中級、上級、特上の 4 ランクで表示するとともに、各素材の簡単な特徴まで記しているため、得意先に説明するのにも便利であるばかりでなく、襖・表具業者が選ぶ場合でも大きな目安となり便利である。なお、同カタログの体裁は A4 版(32 ページ)と薄くて軽いので持ち運びに便利だけでなく、バインダーにとじるためのパンチ穴もあけられており、見やすく使いやすくなっている。さらに同カタログは再生古紙 100%を使用、印刷は SOY INK(大豆油インキ=揮発性なく大気汚染なし。紙とインキが分離しやすくリサイクルに適している)を使用、環境にも配慮している。詳しいことは同社ホームページ(<http://www.bidoor.co.jp/>=現在開設準備中)へ。